



# 早期稲の水管理と穂肥

## 普及所から③

移植後の連続的な低温により、今年の早期稲は生育進度に遅れがみられます。今後は、いつそう周到な管理によって良質多収を図りましょう。

### ◎水管理

分けつを十分に確保したら中干しを行い、無効茎を防止し、根の健全化を図ります。以後は、間断かん水を励行してください。

### ◎穂肥

幼穂形成期（出穂前二十五日ごろ）に入ると、一般的に葉色が薄くなり、止葉の下位葉が始め穂をつくり始めます。ほとんどの品種は、この時期に穂肥を施用しますが、着粒数を増すなど増収効果がある反面、下位節間を伸ばし倒伏の要因ともなります。

## 成人病の豆知識

脳卒中は脳の急性な血液循環障害によって起こります。この中には脳出血と脳血栓、脳塞栓、くも膜下出血などがあります。

### (2) くも膜下出血

脳は、くも膜という膜でおおわれています。くも膜と脳の表面との間にある小さな動脈に、こぶ（動脈瘤）があると、血圧があがったときに破れて出血し、くも膜下出血になります。頭痛がひどく悪心、嘔吐があり意識が混濁します。四肢のマヒは通常起こりません。

# 脳卒中の種類と症状

### (1) 脳出血

脳の血管が破れて出血を起こすもので、多くの場合深い昏睡とともに半身のマヒが起こります。脳出血の誘因として過労、精神不安、寒冷刺激などが多く、また活動中に起こることが多いものです。

### (3) 脳血栓

脈瘤があるとき、血圧があがったときに破れて出血し、くも膜下出血になります。頭痛がひどく悪心、嘔吐があり意識が混濁します。四肢のマヒは通常起こりません。

### (4) 脳塞栓

心臓弁膜症、心内膜炎、心臓衰弱などによってできた血液のかたまりが脳動脈に詰まって起こるもので、症状などは、起こり方が急なこと以外は脳血栓と同じです。

### (5) 一過性脳虚血

脳の血液循環が一時的に悪くなり、目まい、失神発作などを引き起こす症状です。少し横になっていれば治ります。しかし、脳梗塞の前駆症状とも考えられており、高齢者は十分な注意が必要です。

### (6) 高血圧性脳症

高血圧がかなりひどくなると、脳の内部にむくみが起こります。このために、頭痛、嘔吐、手足のけいれんなどがみられ、目が見えなくなることがあります。

品種名	施用時期	施用量 (kg/10a)
極早生品種	出穂前25日ごろ	N成分 2~3
新潟早生	出穂前35日ごろ	2
コシヒカリ	出穂前20日ごろ	2
	出穂前18~15日	2~3

そのため「コシヒカリ」は、やや時期を遅らせ、出穂前十八日ごろ（幼穂長一・一・五センチ、止葉の始め）に施用してください。また「新潟早生」は、短稈耐倒伏性の品種ですから、出穂前二十五日ごろ（無効茎を防止し、着粒数を増加させる）と、前二十日ごろ（モミの退化防止の二回施用します。「新潟早生」は後期栄養の確保が重要です。なお、今年も6月上・中旬に各地区で現地検討会を開きますので、参加してください。【全国農業改良普及所】

